

不撓不屈

ふとうふくつ

佐賀の人材で

船舶用ディーゼルエンジン部品のリンドラーイナーを製造している東亜工機（佐賀県鹿島市）は、谷田、大村方、横田の全3工場が鹿島市内にある。その背景にあるのは地域への強い思い。道路に面した工場外壁に地元学生の絵が描かれていることも地域との関わりを大切にしていることを表している。

社長の光武渉は地元人

東亜工機

③

地域に強い思い

材に「真面目で誠実。物することは、取引先にとつ事を少しでも良い方向に不安の種であることが変えたい」という文化が再認識された。光武も顧る」と信頼を置く。そして客の気持ちは十分に理解して「何よりもモノづくりしている。大型のシリンの責任を果たす使命感をダイライナーを製造でき持っている」と、佐賀である企業は限られる。阪神のモノづくりにこだわり・淡路大震災後には状況を調べるため海外から調査員が訪れた。同社がたことがある。だが結果を継続できなくなれば、佐賀の人材を抜きにば取引先にとつても一大した製品作りはできないと判断した。

代替生産可能に

ただ2016年4月に熊本地震が起き、一つの地域に拠点が集中している。同社は阪神・淡路大震災後、いち早く災害対策



災害対策で顧客の不安解消

有明海を臨む山の上にある本社と谷田工場

 いよう建物や機械を管理している」と自信をみせる。
 設備にはくいを打ち込んでも進める。鋳物の冷却速度で転倒を防度度をコントロールするた止。加工や精めに使つブロック状の金度への影響を属がある。同社では一つ抑えている。の製品に多い時は約50

た2016年4月に熊本地震が起き、一つの地域に拠点が集中している。同社は阪神・淡路大震災後、いち早く災害対策

に取組むことで不安の解消に心えた。光武は「お客さんに心配させないから調達し、片方から送は作業者の大きな負担だ」

 電でなくなっても操業を継続できる。大型製品を製造する谷田工場と同等の製品が作れる設備を横田工場にも整え、代替生産を可能としている。

 電でなくなっても操業を継続できる。大型製品を製造する谷田工場と同等の製品が作れる設備を横田工場にも整え、代替生産を可能としている。

 電でなくなっても操業を継続できる。大型製品を製造する谷田工場と同等の製品が作れる設備を横田工場にも整え、代替生産を可能としている。

（敬称略）